

平成 30 年 1 月 26 日

保護者各位

宮城県仙台第一高等学校
校長 加藤 順一
(公 印 省 略)

平成 29 年度「生徒・保護者共通アンケート」集計結果について（報告）

厳寒のみぎり、保護者のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「生徒・保護者共通アンケート」の実施に際しましては、お忙しい中にもかかわらず、ご回答いただき誠にありがとうございました。調査結果の集計がまとまりましたので、下記の通りご報告いたします。この結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かし、さらなる学校の活性化とより良い学校づくりを推進していきたいと考えております。

今後とも、本校の教育活動により一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

記

1 実施期間 平成 29 年 11 月 13 日(月)～平成 29 年 11 月 20 日(月)

2 回答人数及び回答率

	教職員	保護者	生徒全体	男子生徒	女子生徒
回答人数	45	608	913	564	349
回答率	79%	63%	95%	94%	96%

3 調査内容(13 項目)

下記(1)～(13)の項目について「そう思う」、「大体そう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の 4 段階で回答していただいた。

- (1)学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている（学習指導）
- (2)挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）
- (3)進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている（進路指導）
- (4)教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている（教育相談）
- (5)部活動は活発に行われている（部活動）
- (6)生徒会活動は活発に行われている（生徒会活動）
- (7)有意義な学校行事がある（学校行事）
- (8)地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる（特色ある学校づくり）
- (9)災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている（防災教育）
- (10)学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている（開かれた学校づくり）
- (11)校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている（施設設備）
- (12)学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる（いじめ対応）
- (13)学校生活は充実している（総合満足度）

4 調査結果（概要）と関係部署からのコメント

今年度はアンケートの回収率が高く、より多くの回答を得ることができました。なかでも生徒全体の回答率が 95%と高かったものの、前年度と比較すると防災教育以外の全ての項目においてポイントを下げる結果となりました。しかし、全体的に多少の増減は見られるものの、ほとんどの項目において肯定的な回答が 70%以上を占めています。生徒、保護者、教職員で特に大きな増加が見られたのは、教育相談、特色ある学校づくり、施設設備などの項目でした。

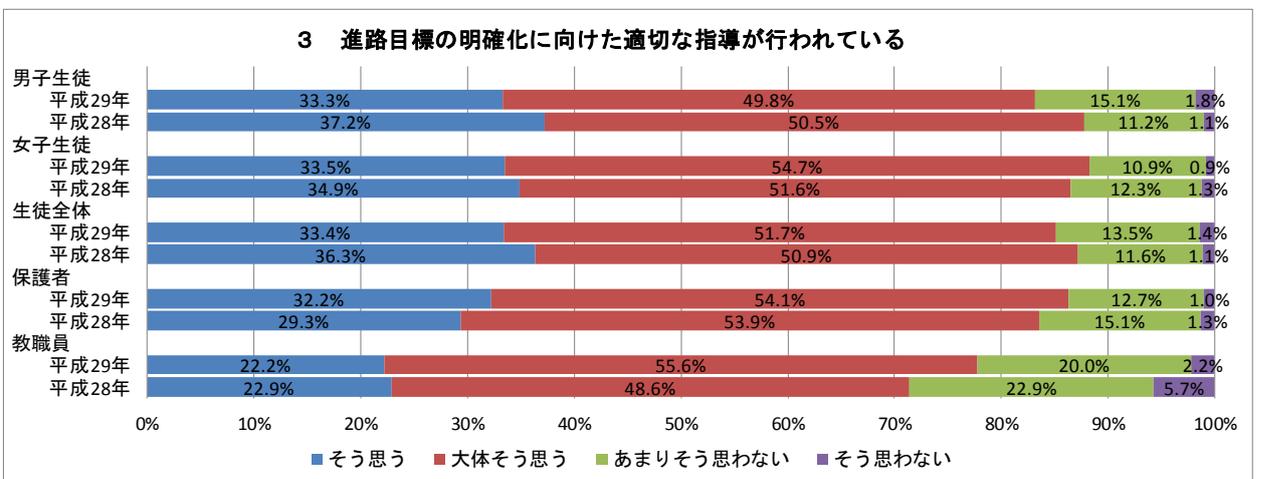
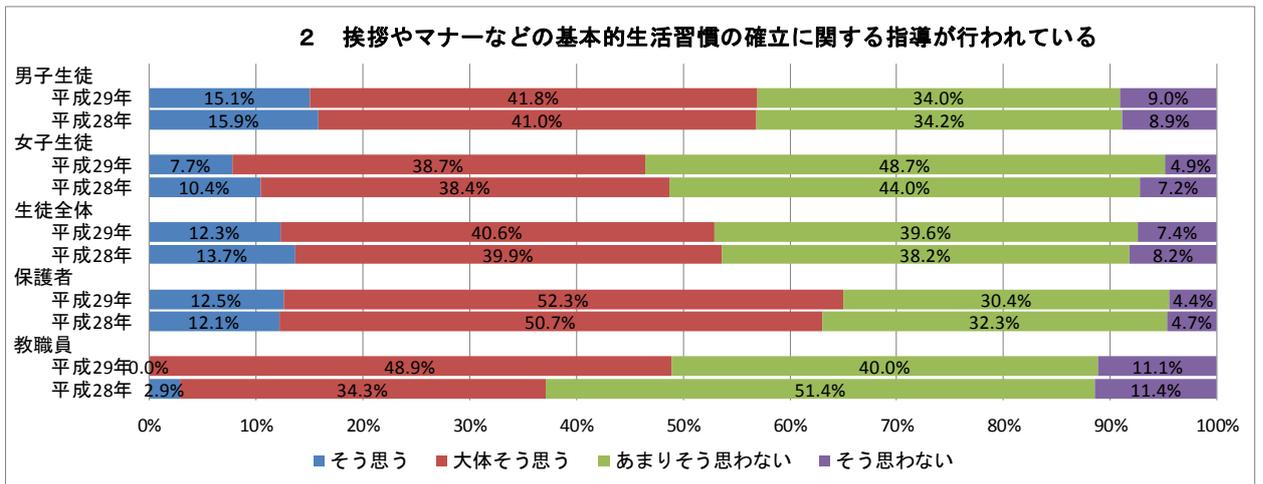
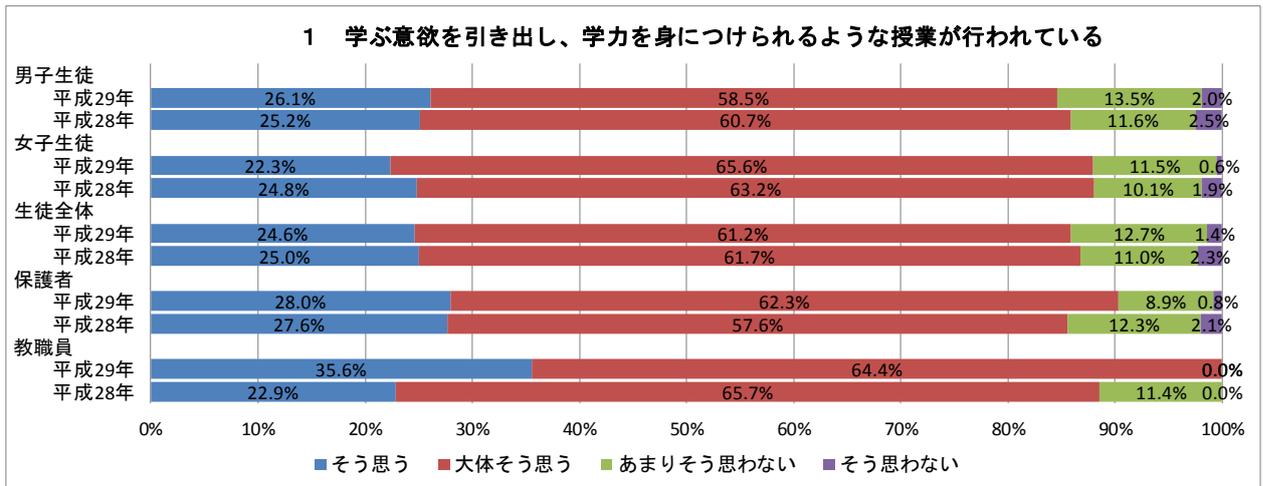
(1) 肯定的な意見が生徒全体および保護者において 80%を超えており、本校における授業を前向きに

- とらえている状況が見て取れる。今後も、この状況を維持・向上すべく、授業改善に取り組んでいきたい。平日の公認欠席の多さについてご意見が寄せられたが、部活動の大会による公欠は、県レベルの話であり、高体連の各専門部に改善をお願いしたい点である。学校行事の運営に関わる公認欠席については、安易な公認欠席とならないよう学校行事を主管している分掌や学年・教科で活動内容を精査し、より円滑な行事運営となるように努めていきたい。また、考査についてのご意見もあり、学習指導要領の改定も見据えながら、考査問題の在り方について全教員に働きかけを行っていきたい。
- (2) 例年と同様に低い水準ではあるが、引き続き本校の生徒指導についてご理解をいただけるよう地道に伝えていくこととともに、生徒間における自浄作用が機能するような働きかけをしていきたい。
- (3) 生徒本人の進路に対する意識を高めることが第一であると考えており、各種の進路行事を通して生徒自身に進路について考えさせる機会を多く設けている。それらの行事が一人ひとりの進路意識を高めることに上手く結びつく様にさらに工夫していきたい。
- (4) 否定的評価の「そう思わない」は生徒・保護者・教職員共に前年比ほぼ変化無しである。「あまりそう思わない」についても肯定的評価減にほぼ等しい。相談等の必要性を感じなければ関心が薄くなるという見方もできるが、関連性について今回の調査では判断できない。メンタルヘルス相談件数は昨年や一昨年に比べ減少している。メンタルヘルス相談については相談体制の充実を意識しながら困りごとがあったときの周知を一層図っていきたい。
- (5) (6) (7) 生徒が中心となって活動する部活動・生徒会活動・学校行事については、比較的良好的な回答が得られているので、生徒が充実した生活が送れるよう継続して支援していく。
- (8) 昨年度のアンケート結果と比較すると各項目(生徒・保護者・教職員)のともに減少しているが、全体として見ると、80%～90%の意見が肯定的な意見である。特色ある学校づくりにSSH事業がどれだけ貢献しているのかを問う調査項目を設定し結果を検証していけるようにしたい。さらには「地域や伝統に根付いた～」と聞いていることから、「一高の伝統」の意味合いの方が強いと考えられる。
- (9) (10) 生徒や保護者に向けた様々なお知らせを掲示・配布・送信したことが防災意識の高揚につながり、評価されたのではないかと分析している。また、実際に臨時休校があったり、Jアラート作動が2度起こったりと、防災意識を高揚させる出来事が発生したことも大きいと考えられる。メール配信が好評であり、必要なものについては今後もメール配信を行ってきたい。ホームページの存在、その掲載内容について、第1回目のPTA総会(学年PTA総会)時に周知を図りたい。
- (11) 校舎は老朽化してきているが、比較的規模の大きな修繕箇所等を、緊急度を考慮し年次計画で修繕工事を実施している。3カ年かけてテニスコートを整備し、地下鉄工事終了に伴い弓道場を元の場所に移築(射場は補修、的場は新築)。現在は、同窓会館の吊り天井撤去工事中。今後も、必要性や緊急度を考慮し計画的な改修工事等を実施していきたい。校舎等の清掃に関しては、業者によるトイレ清掃及びワックス塗布等(エリア毎年次計画による)を実施予定。
- (12) については、まず「いじめをしてはいけない」ということについて自覚を促すような啓発的指導をしたい。また、生徒との日常的なコミュニケーションを大切にするとともに、年4回の調査による生徒の実態把握を継続し、不安要素は早期に職員間で共有するようにしたい。

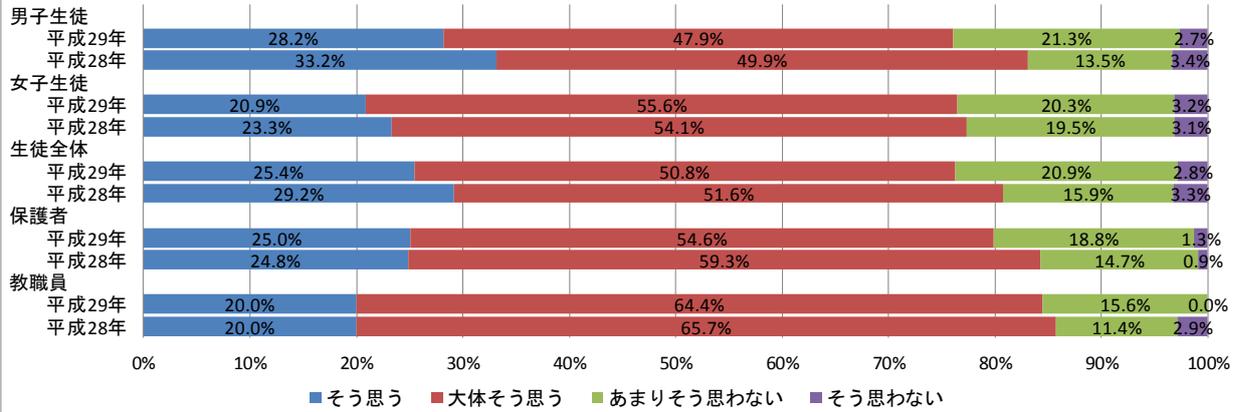
5 調査結果(数値)

調査項目ごとの肯定的な回答(「そう思う」または「大体そう思う」)の割合、順位、前年度比較の増減値をまとめたものです。項目毎の集計結果のグラフについては本校HPをご覧ください。

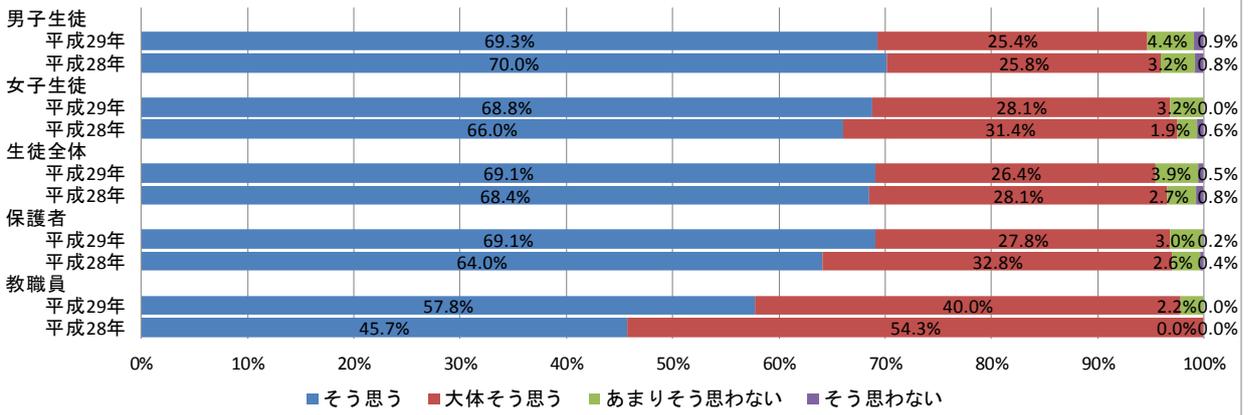
調査項目	生徒全体	順位	前年比増減	保護者	順位	前年比増減	教職員	順位	前年比増減
(1) 学習指導	85.9%	4	-0.9ポイント	90.3%	5	5ポイント	100.0%	1	11.4ポイント
(2) 生徒指導	52.9%	13	-0.7ポイント	64.8%	12	1.9ポイント	48.9%	13	11.7ポイント
(3) 進路指導	85.1%	5	-2.1ポイント	86.3%	8	3.1ポイント	77.8%	9	6.3ポイント
(4) 教育相談	76.2%	11	-4.6ポイント	79.6%	10	-4.5ポイント	84.4%	8	-1.3ポイント
(5) 部活動	95.5%	1	-1ポイント	96.9%	1	0ポイント	97.8%	3	-2.2ポイント
(6) 生徒会活動	76.7%	10	-0.4ポイント	89.6%	6	0.5ポイント	93.3%	5	1.9ポイント
(7) 学校行事	95.3%	2	-1.2ポイント	96.7%	2	-1.2ポイント	100.0%	1	2.9ポイント
(8) 特色ある学校づくり	84.8%	6	-3.6ポイント	91.1%	4	-3.1ポイント	71.1%	11	-3.2ポイント
(9) 防災教育	83.7%	7	9.7ポイント	85.5%	9	4ポイント	88.9%	6	-2.5ポイント
(10) 開かれた学校づくり	81.5%	9	-3ポイント	79.3%	11	1.9ポイント	73.3%	10	4.8ポイント
(11) 施設設備	82.5%	8	-2ポイント	88.0%	7	-0.4ポイント	64.4%	12	-15.6ポイント
(12) いじめ対応	67.8%	12	-9.4ポイント	59.0%	13	3.3ポイント	86.7%	7	3.8ポイント
(13) 総合満足度	93.6%	3	-0.2ポイント	95.7%	3	-0.2ポイント	97.8%	3	0.6ポイント



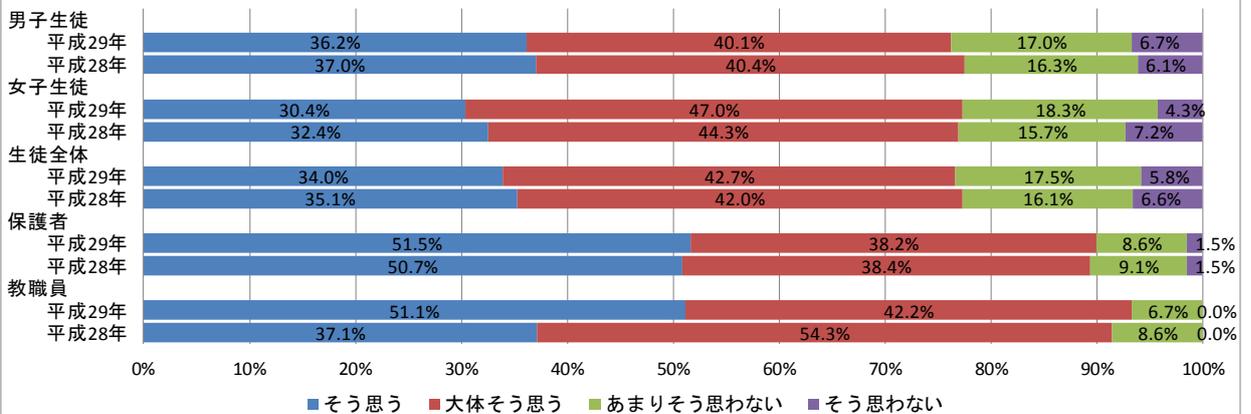
4 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている



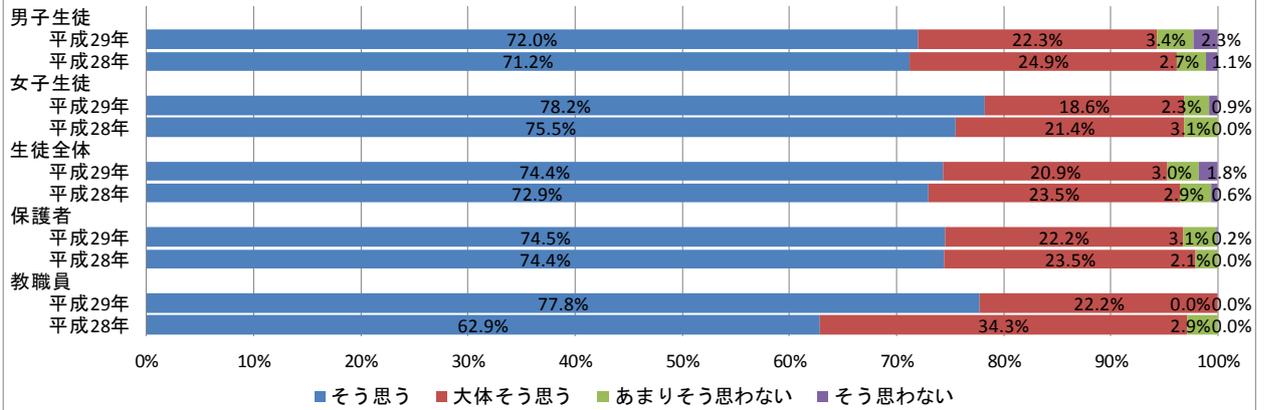
5 部活動は活発に行われている



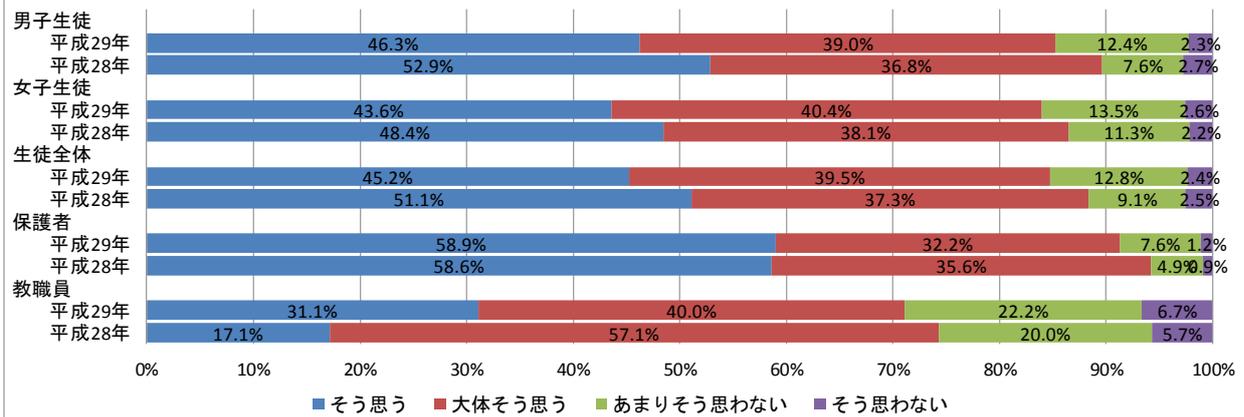
6 生徒会活動は活発に行われている



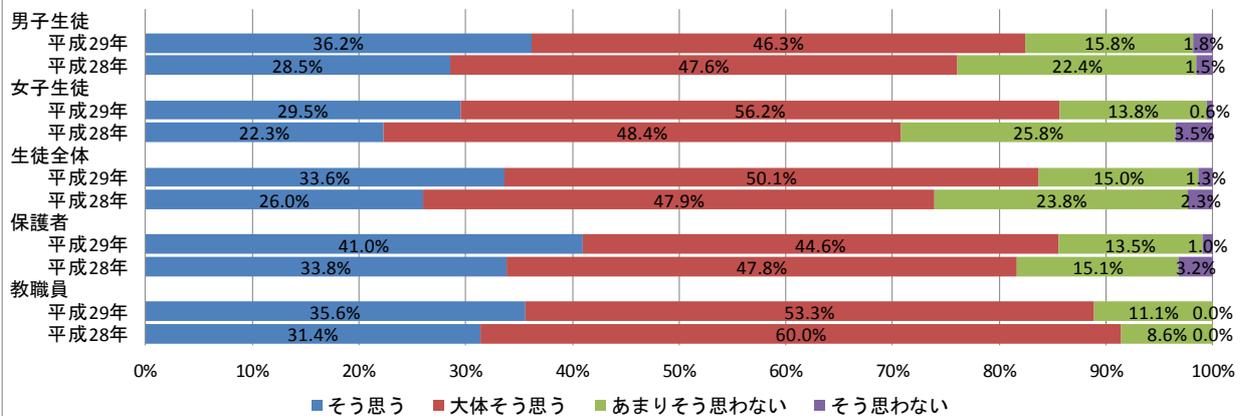
7 有意義な学校行事がある



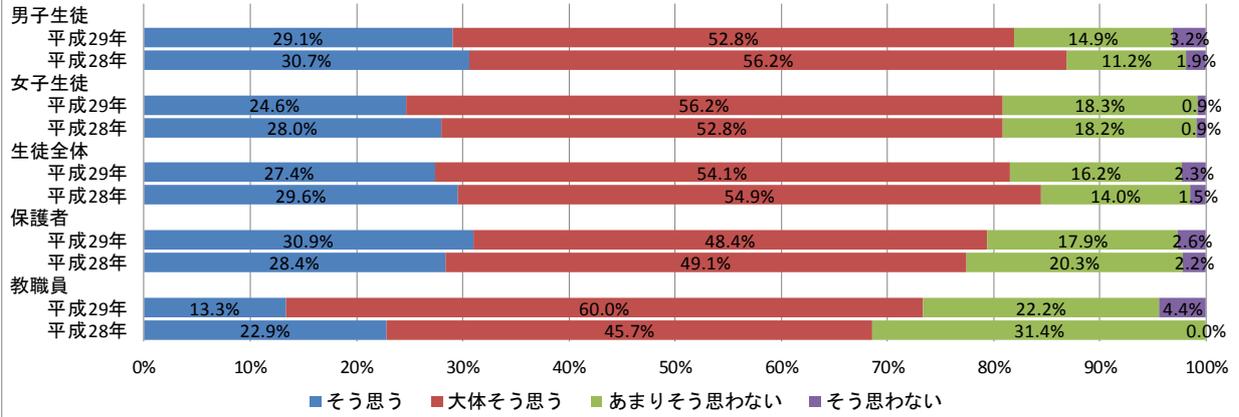
8 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる



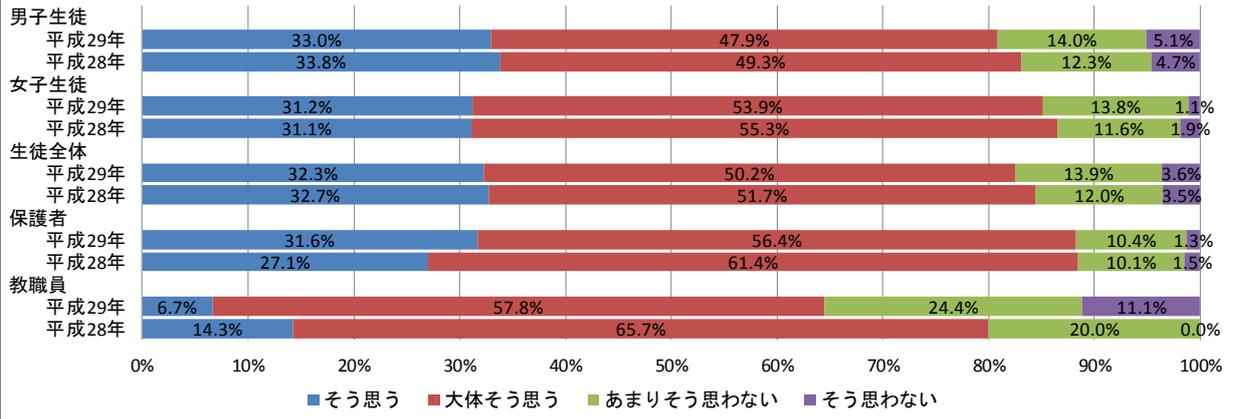
9 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている



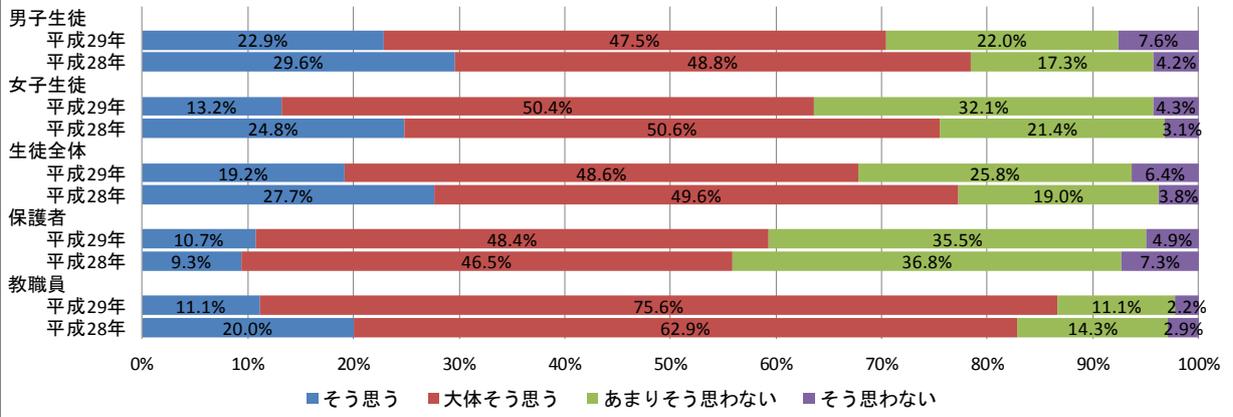
10 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている



11 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている



12 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる



13 学校生活は充実している

